

あなたの思いをカタチに



三重県県土整備部（総合土木）
職員採用パンフレット



三重県県土整備部
令和5年11月発行
（令和7年2月改訂）

三重県土木技術職員になろう

—— 文化、自然、歴史、観光、産業 ——
三重県には、魅力ある財産が溢れています。

三重県では、将来世代も含む県民の皆さんが未来に希望を持ち、幸せを感じながら、元気かつ安全・安心に暮らすことのできる持続可能な地域、「強じんて多様な魅力あふれる『美し国』」の実現をめざしています。

三重県の総合計画

長期構想「強じんな美し国ビジョンみえ」

中期戦略計画「みえ元気プラン」

<https://www.pref.mie.lg.jp/VISION/index.htm>



土木技術職員が整備・管理を担う社会資本は、皆さんの日々の生活や社会経済活動の基盤となっています。また、南海トラフ地震や激甚化・頻発化する風水害など大規模災害が、いつ、どこで発生してもおかしくない状況が続いています。

土木技術職員は、これからの三重県を担う大切な人材です。

誰もが笑顔で明るく暮らせる三重づくりに、ぜひ、あなたの力を発揮してください。



三重県土木技術職員の魅力

- 県民の皆さまの生命や財産を守る仕事です
- 豊かで活力ある地域づくりに貢献できます
- 計画から工事、維持管理まで公共事業全体に関われます
- 多様な成長機会で自分らしいキャリア形成に挑戦できます
- ワークライフバランスを理想的に実現できます

達成感

土木施設の整備が完了した時の県民の皆さんの笑顔に達成感を味わえます

働きやすさ

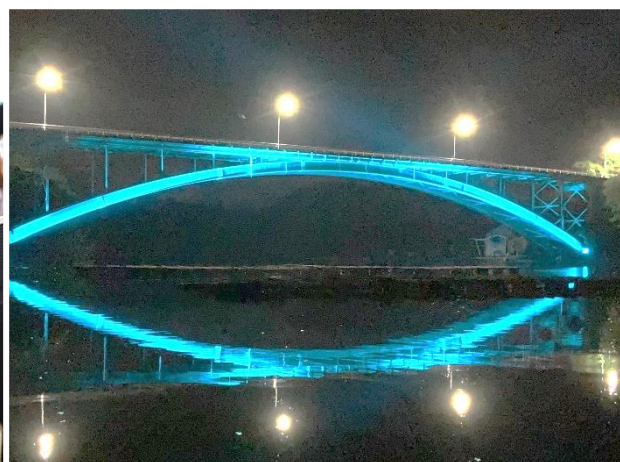
県庁全体でワークライフバランスに取り組んでいて、ライフワークも充実しています

地域貢献

自然災害からの復旧や地元の声に応えることで地域貢献できます

県土整備部では、職員も含めた県民の皆さんの笑顔を守るために、全ての職員が協力しながら仕事をしています。

三重県県土整備部のマスコットキャラクター「ちどりん」♪
県の鳥である「シロチドリ」をモチーフにしています。
たくさんの方にご愛好いただいて、SNSでも好評です🌟



県土整備部の役割

総合土木で受験した場合、3つの部署（県土整備部、農林水産部、企業庁）のいずれかに配属されます。県土整備部では、県民の生活や地域経済を支える道路・港湾、県民の生命・財産を守る河川・砂防・海岸、水質保全を図る下水道、計画的な都市形成を進める都市基盤の整備や維持管理を行っています。

県土整備部

主な事業

- 道路・港湾の整備
- 洪水防止、土砂災害対策
- 安全で快適なまちづくり



<https://www.pref.mie.lg.jp/D1KENDO/>

農林水産部

主な事業

- 農業・水産業の生産基盤の整備
- 農山漁村の生活環境の整備

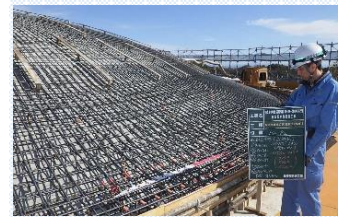


<https://www.pref.mie.lg.jp/D1NOURIN/>

企業庁

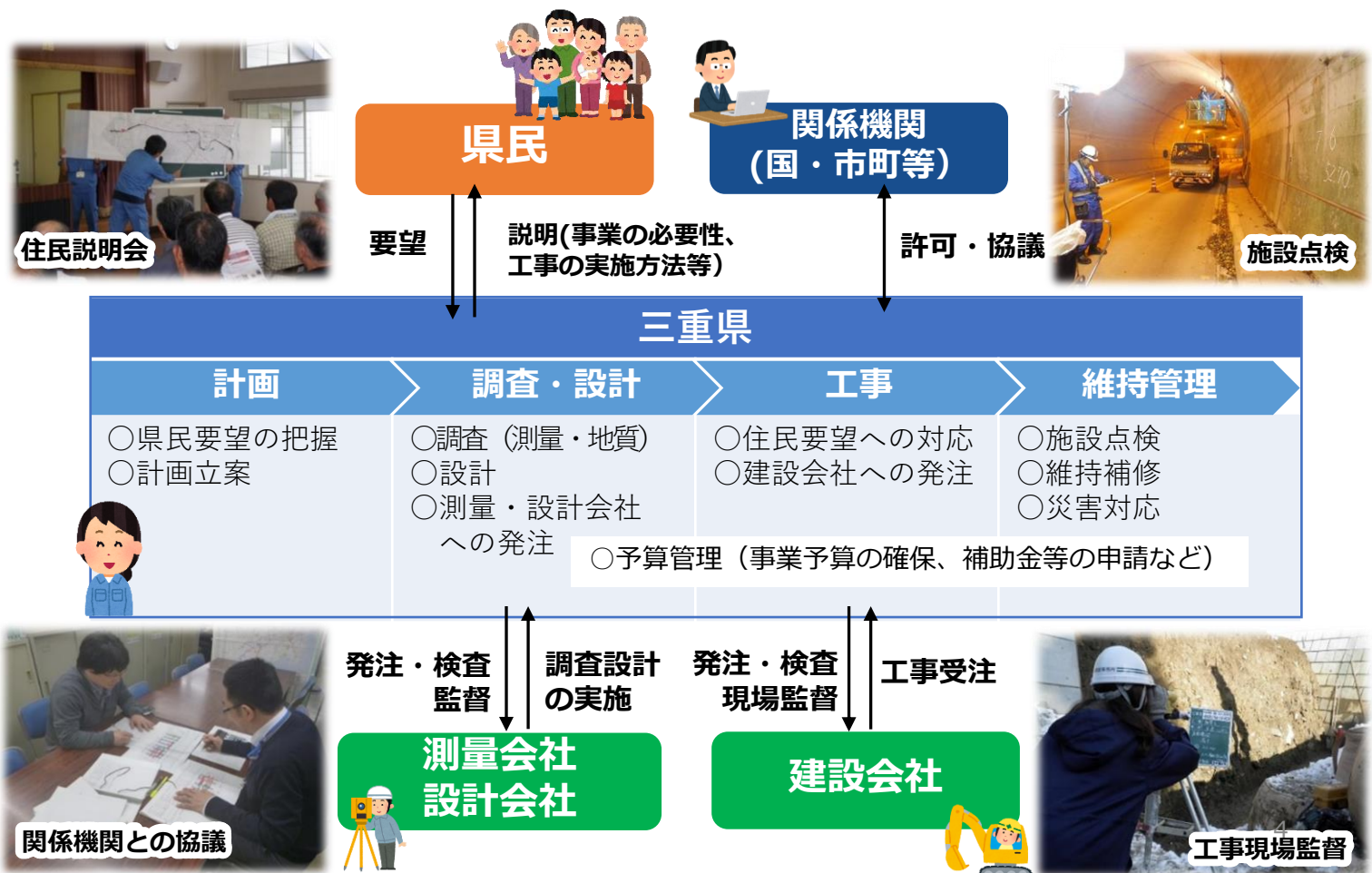
主な事業

- 水道・工業用水道事業にかかる浄水場や水道管等の土木施設の整備



<https://www.pref.mie.lg.jp/D1KIGYO/>

県土整備部の土木技術職員は、地域のニーズを取り入れながら、測量・設計会社や建設会社と協力して、社会資本の整備や維持管理を行っています。



県土整備部の事業概要

県土整備部では、公共事業の執行を通じて、「地域経済や集客・交流を支えるネットワーク・拠点の整備」や「県民の命を守る取組」等を推進しています。

「ネットワーク・拠点の整備」では、高規格道路である「鈴鹿亀山道路」の整備や「リニア三重県駅」を核としたまちづくりなど大規模事業が計画されています。「県民の命を守る取組」では国土強靱化対策予算を活用し、災害に屈しない強じんな県土づくりを進めています。

一 次代につなぐ感動を呼ぶ道づくり

道路改良、道路の防災対策、
交通安全対策



一 県民の安全・安心を守る流域一体となった県土づくり

流域治水の推進、河川整備、土砂災害対策、
海岸保全施設整備、港湾の機能充実



一 安全で快適なまちづくり

まちづくり、電線類地中化、都市公園整備、
景観づくり、下水道の整備



一 デジタル化（DX）、グリーン化（GX）の推進

ITを活用した管理体制の強化、
生態系を活用した防災・減災対策



一 社会資本の維持管理

老朽化対策、舗装修繕、堆積土砂撤去、
道路・河川パトロール



一 迅速な災害対応

被災状況調査、災害復旧、災害対応訓練

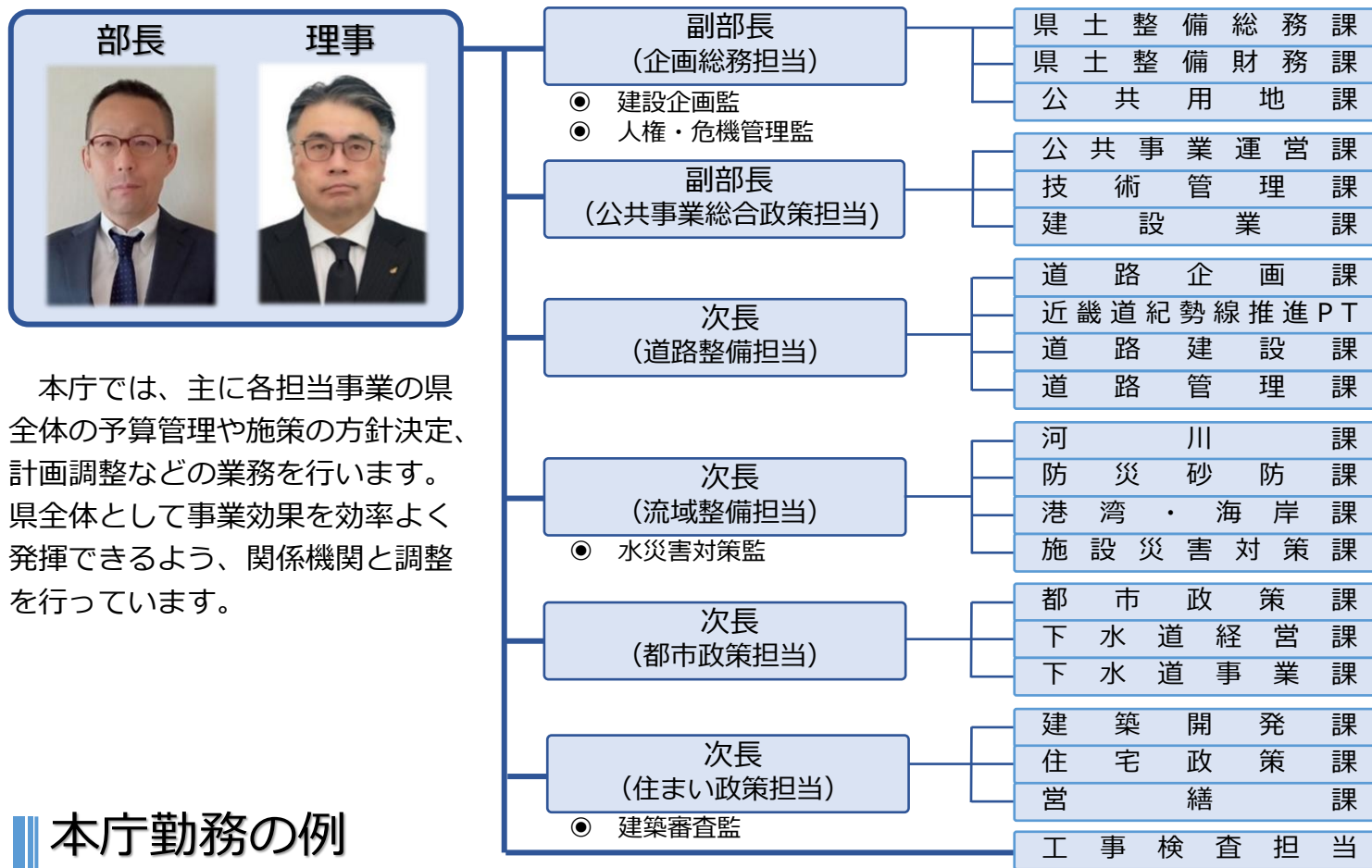


詳しくは県土整備部事業概要
をチェック

<https://www.pref.mie.lg.jp/D1KENDO/>



組織構成（本庁版）



本庁では、主に各担当事業の県全体の予算管理や施策の方針決定、計画調整などの業務を行います。県全体として事業効果を効率よく発揮できるよう、関係機関と調整を行っています。

本庁勤務の例

～主な業務内容～

私が所属する港湾・海岸課では、物流のための船が安全に停泊できるよう、また台風時に起こる高潮や津波などから県民が安全に暮らせるよう、三重県が管理している港湾や海岸を整備・維持管理しています。また、港湾や海岸の施設（物揚場や堤防など）に船を係留したり、祭などで利用したりする際には、施設の管理者として法律や条例に基づき審査・許可等を行っています。

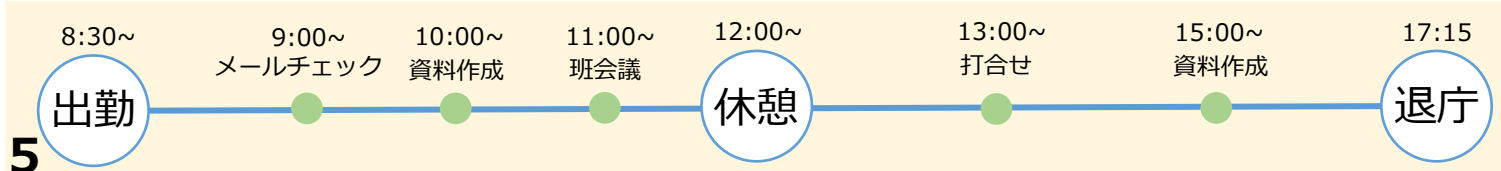
その中で、私は海岸整備に関する業務を担当しており、堤防や護岸の整備に要する予算を確保するため、計画書の作成や国など関係機関との協議をしています。また、デスクワークだけでなく、整備中の現場に赴いて、進捗状況の確認も行っています。

～ある1日の働き方～

朝は8時30分に出勤し、メールをチェックします。重要なメールがあれば、優先的に対応します。班会議では、業務毎の進捗状況を班員に共有し、今後の業務に対するアドバイスや改善指示をもらいます。昼からは、業務委託を契約した会社と、指示した資料の確認や今後のスケジュールなどの打合せをします。業務内容に応じて上司にも打合せに入ってもらいます。その後は、メールの処理、翌日の資料を準備し、17時15分に退庁します。



県土整備部 港湾・海岸課
大久保 敬太 さん
(平成26年度採用 総合土木)

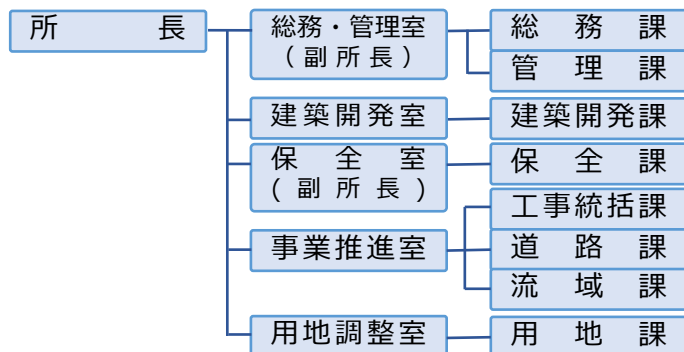


組織構成（地域版）

県土整備部には、地域機関として10建設事務所と2流域下水道事務所があります。

土木技術職員は、主に保全室、事業推進室に配属され、管轄地域における社会資本の建設、維持・管理、災害復旧を行っています。

建設事務所の組織（例）



地域機関勤務の例

～主な業務内容～

松阪市内の県道や一部国道を対象に道路改修事業、交通安全対策事業及び災害復旧事業を実施しています。

その中で私は、道路を改良するための設計や工事の積算・監督を主に担当しており、道路幅員を広げて、車がスムーズに走行できるようにしたり、歩行者と車が通る場所を分離し、歩行者が安心・安全に通れるようにしています。

公務員は内業のイメージがありますが、設計や工事監督を行う際に、現場確認が重要になるため、週の半分は外業を行っています。



左が大久保技師

～ある1日の働き方～

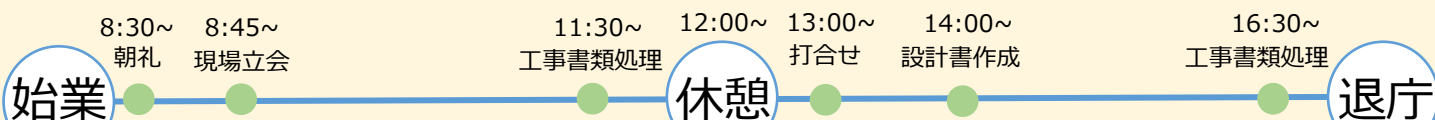
始業後、朝礼を行い、各職員が1日の予定を共有します。その後、先輩とともに公用車で工事現場の立会に向かい、完成後では確認できない施工途中の仕上りを確認します。その際に、建設業者から工事書類の提出があるため、帰庁後、書類を整理します。

昼からは上司も同席して、設計業者と設計内容の確認や問題点について打合せを行います。空いた時間で、今後発注する設計業務や工事の発注関係書類を作成します。また、受注者が事務所へ直接持参した書類を整理し、翌日の準備を行ってから退庁します。この他にも、職場メールの確認や、現場立会などの関係者との日程調整、工事に必要な法令手続きも適宜行います。



左奥が大久保技師

松阪建設事務所事業推進室
大久保 斗和 さん
(令和4年度採用 総合土木)



若手職員の声



桑名建設事務所事業推進室
川村 倫太郎 さん
(令和3年度採用 総合土木)

Q 今どのような業務を担当していますか。

A 道路整備にかかる調査設計・積算を行っています。私は現在、道路改良工事の最終変更に向けて、変更設計書の作成を行っています。また、工事の監督業務も行っています。

Q 職場の雰囲気はどうですか。

A すごくいいです。分からないことがあれば、先輩方が丁寧に教えてくださいます。私はまだ、教えられている身なので、ずっと助けられていますが、先輩方は常に助け合い、相談しあいながら業務を進められています。

Q 苦勞していることはありますか。

A 入庁して間もないので、何が分からないか分からないことがあります。また、自分の知識不足で、相手に上手く伝えられないこと（電話対応、打合せ等）もあります。

Q 三重県庁へ入庁を考えている皆さんへメッセージをお願いします。

A 計画の段階から完成供用の段階まで、すべての過程で業務に携わることができます。また、常に助け合うという職場環境があるので、一人で悩まず仕事を進められます。私もまだまだ成長段階なので、皆さんと一緒に成長していけたらと思います。

Q 今どのような業務を担当していますか。

A 路肩が狭く、通行車両と歩行者が接近して危険な状態となっている道路の路肩整備事業や、豪雨等により崩壊した箇所を復旧する事業を担当しています。

Q 職場の雰囲気はどうですか。

A 今は分からないことが多いですが、先輩方に質問をした際はとても丁寧に教えてくださり、いつも支えてもらっています。休暇等のプライベートについても相談しやすい雰囲気があります。

Q どんなときにやりがいを感じますか。

A 自分が担当した工事が完成した際は、県民の皆さんの安全、安心に貢献できたという達成感があります。

Q 三重県庁へ入庁を考えている皆さんへメッセージをお願いします。

A 道路整備や流域整備などの土木工事は、県民の皆さんの生活に直結しており、やりがいを持って働くことができます。皆さんと共に働ける日を楽しみにしています。



四日市建設事務所事業推進室
加藤 伸一郎 さん
(令和4年度採用 総合土木)

若手職員の声



津建設事務所事業推進室

杉本 一生 さん

(令和3年度採用 総合土木)

Q 苦労していることはありますか。

A 業者の方から質問されたときに即答できないことです。専門用語がまだ身についておらず話についていけないこともあるのでこれから覚えていき、できることを増やしていきたいです。

Q 三重県庁へ入庁を考えている皆さんへメッセージをお願いします。

A 県民の安心・安全を支えるという責任とやりがいのある仕事です。休みも取得しやすく、困りごとなどを聞いていただける働きやすい職場だと思います。ぜひみなさんと一緒に働ける日を楽しみにしています！

Q 今どのような業務を担当していますか。

A 県が管理する道路等の土木施設をパトロールしています。パトロール中、異常がありその場で対応できる場合は対応し、自分たちでは対応できない作業や、県民の方から要望をいただいた箇所については、業者に修繕依頼し、私はその工事の監督業務を行います。

Q 職場の雰囲気はどうですか。

A とても働きやすい職場だと思います。今は、わからないことが多いですが周りの先輩方に、わからないことを聞くとすぐにわかりやすく教えてくれます。

Q どんなときにやりがいを感じますか。

A 自分が担当した区画線などの現場がきれいに出来上がった際、県民の方々が安全に道路を利用できる仕事に携わられたと実感でき、やりがいを感じます。

Q 苦労していることはありますか。

A 土地勘がなく現場の地名を言われても、すぐにわからないことです。また、業者などとのやり取りで質問されたときに、現場の経験不足から、すぐに答えることができず苦労しています。

Q 三重県庁へ入庁を考えている皆さんへメッセージをお願いします。

A 周りの先輩方はとてもやさしく、わからないこともすぐに教えてくれ、とても働きやすい職場だと思います。皆さんと一緒に働ける日を心待ちにしています。

Q 今どのような業務を担当していますか。

A 流下能力を回復させるために、河川に堆積している土砂を撤去する工事と土砂災害防止のために行う急傾斜地崩壊防止工事を担当しています。

Q 職場の雰囲気はどうですか。

A みなさん明るくて気軽に話しやすい職場です。まだ業務に関してはわからないことばかりですが、先輩方に質問すると何一つ嫌な顔せず丁寧に教えてくださりいつも支えていただいています。

Q どんなときにやりがいを感じますか。

A 担当業務が近年多発している自然災害に対する防災・減災につながるため、それらの業務に取り組んでいるときです。また、ひとつずつできることが増えていく際にもやりがいを感じます。



伊勢建設事務所保全室

直江 敬太郎 さん

(令和3年度採用 総合土木)

職員育成・キャリア形成

三重県庁の職員人づくり

くめざすべき職員像>

県民とともにアクティブに、新しい三重を創っていく日本一の職員

「三重県職員人づくり基本方針」（令和2年3月改定）では、職員任せの人材育成から、県政運営のベースである「人」について、組織全体で、より積極的に職員に働きかける「みんなでやる人づくり」に取り組むことになっています。



県土整備部の職員育成

県土整備部では、入庁3年目までを基本的な技術を幅広く身に付ける大切な時期として、若手職員の人材育成を重視しています。

「入庁3年目までの土木職員育成シート」を活用し、育成対象職員に関係する職員(トレーナー、先輩職員、課長、室長、所長)それぞれに役割を決めて、職員の育成指導を行っています。

職員育成のための人事評価制度

職員一人ひとりの意欲や能力が最大限に発揮されるとともに、組織の目標が共有され、さまざまな行政課題に柔軟に対応することができる組織の実現を図るため、職員の勤務評価制度を実施しています。人材育成やチームワークの向上に力点を置きながら、「職員全体の意欲・能力の向上」と「職員のやりがいを引き出す組織風土の醸成」による「組織力の向上」をめざすものです。評価結果は勤勉手当に反映されます。

所属長等との面談

期首面談や、中間面談、フィードバック面談など、年間計5回実施されます。それぞれの担当業務について、具体的な目標を設定し、効率的な業務の進め方や、ライフプランの充実のために職場で支えてほしいことなどを、所属長と対話をしながら、振り返ります。



三重県庁の職員研修

職員として必要な知識及び技能等の習得や能力開発のために、各階層・職責に応じて様々な研修を行っています。各段階で必要とされる能力を考慮したうえで資質の向上を支援する研修や、現場で使えるより実務的・実践的な知識及び技能等の習得に重点を置いた研修を実施するなど、皆さんをしっかりサポートしていきます。

新規採用職員研修

入庁時研修

公務員倫理、県の服務、県政の基本方針、マナー、仕事の基礎、県の福祉施策、ユニバーサルデザイン、防災など

動画研修

電子システム操作、公文書の作成・管理、会計事務の基礎など

フォローアップ研修

入庁約半年間及び9ヶ月間の振り返り、チームに貢献する仕事の進め方の習得

基本研修（新規採用～採用5年目）

入庁から5年間は、県職員としての基礎固めとして、基本的知識や技能、業務に対する姿勢を段階的に習得する必修研修が充実しています。

新任主任、新任係長等研修

職場の中核的な役割を担う中堅職員を対象とした研修では、視野を広げ、大きな視点で物事を見ることの重要性を理解し、課題解決にチームの中心となって取り組むための能力を身につけます。

ブラッシュアップ研修

職員に必要な能力を磨き上げるためのブラッシュアップ研修（希望研修）もあります。（研修例：業務改善研修、eラーニングによる研修、法制執務講座など）



～グループワークでの一コマ～
他の職種を含めると同期の仲間は総勢100人以上います。グループワークや休息時間に交流を深めています。

土木技術系研修・スキルアップ

土木技術系研修

私たちの仕事を取り巻く状況は急激に変化しています。県土整備部においても、職員一人ひとりが自分を磨き、持てる力を十分に発揮し、社会資本整備を着実に推進していかなければなりません。

県土整備部では、独自の「研修ガイド」を作成しています。職員それぞれが自分に求められている知識や技術は何かを考え、計画的に研修を受講することで、効率的なスキルアップが可能です。



部内で主催する研修

例：県民との協働、景観配慮、都市計画、
初級積算・電算・電子納品、CAD操作、
建設業法、道路構造物、災害復旧 等

三重県建設技術センターが主催する研修

例：ICT施工、土木施工管理入門、
若手土木技術者のための公共工事基礎知識、
アスファルト舗装の品質管理、
コンクリート診断技術 等

全国建設研修センター研修

地方公共団体職員の技術力向上を目的として設立された、一般財団法人全国建設研修センターが開催する行政職員を対象とした研修に参加できます。集合研修や、ライブ研修、オンデマンド研修など、様々な研修方式があり、ワークスタイルに合わせ受講することができます。

例：土木施工管理、河川構造物設計、
道路整備施策、橋梁設計・施工、
砂防等計画設計、都市計画の基礎 等

国土交通大学校研修

国土交通省の所掌に関する分野の人材育成を目的とした国土交通大学校が開催する研修に参加できます。講義形式に加えて、課題研究・班別討議などを活用した集合研修、オンライン研修を実施し、研修員自らが主体的に研修に参加することにより、実践能力の養成等が期待されます。

例：PPP/PFI、公園・緑化、インフラDX、
水害に対する危機管理能力向上、
河川計画、道路計画、公共測量 等

i-どぼくゼミ

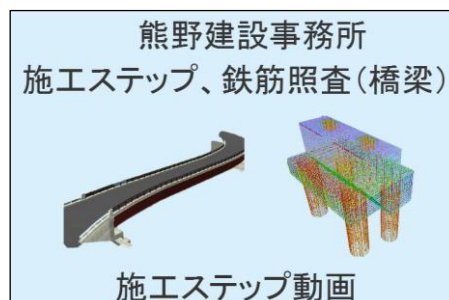
県土整備部では、先輩職員から中堅・若手職員へ技術力を継承することを目的として、「i-どぼくゼミ」の取組を実施しています。i-どぼくゼミでは、「事業計画」「調査・設計」「工事現場」の3つの技術継承のコンテンツを県土整備部のプライベートネットワークで提供しています。

研修動画やBIM/CIMなど現場での新しい取組、OBによる講習会資料、各種要領・要綱など様々な資料を格納しており、i-どぼくゼミを開けば土木に関する幅広い知識を得ることができ、若手・中堅職員の学びに繋がります。

土木職員の実経験を風化させずにみんなで共有し成長することを目指し、コンテンツを順次追加しています。



工事現場の段階確認や品質管理方法を動画で分かりやすく解説



各事務所のBIM/CIM試行業務の成果を掲載

技術継承コンテンツ（例）



- ・事業報告会
- ・再評価
- ・事業PRポスター



- ・不具合事例
- ・地質調査・測量
- ・BIM/CIM etc



- ・現場研修会
- ・段階確認
- ・遠隔臨場 etc



- ・OBによる
研修・講習会



ワークライフバランス

給与

初任給及びボーナス（期末・勤勉 手当）はおおむね右表のとおりです。なお、卒業後の経歴によって、一定の基準により加算されます。

※家族状況、勤務形態などにより、扶養手当、住居手当、通勤手当、時間外勤務手当などが支給されます。

職種	学歴	初任給	ボーナス （期末・勤勉手当）
A試験	大学院卒	約226,200円	年間 4.5月分
	大学卒	約214,900円	
B試験	短大卒	約196,300円	
C試験	高校卒	約181,900円	

※令和6年4月時点

勤務時間

- ・月曜日～金曜日
午前8時30分～午後5時15分
- ・完全週休2日制
土・日曜日、祝日、年末年始
- ・年次有給休暇
採用1年目…年間15日（4月採用）
2年目以降…年間20日
- ・その他特別休暇等 夏季休暇、ボランティア休暇など

職員公舎

県内各地（津市、志摩市、尾鷲市、熊野市）に世帯用または単身用（独身寮タイプまたはワンルームタイプ）の職員公舎があります。これらの公舎は、採用または勤務地の異動により通勤が困難となる職員が利用できます。

次世代育成に関する「休暇・休業・勤務時間制度」

職員のライフステージに合わせ、様々な休暇・休業制度があります。結婚休暇や育児休暇、早出遅出勤務、時短勤務、介護休暇などがあり、令和3年度における育児休業の取得率は男性が68.2%、女性が100%です。女性職員だけでなく、男性職員も子育ての当事者として積極的に育児に関わることを勧めています。詳しくは三重県人事委員会事務局の採用案内に記載しています。

その他福利厚生や諸手当などはこちらから

三重県人事委員会
事務局の採用案内
パンフレット



https://www.pref.mie.lg.jp/saiyo/29585027238_00003.htm

人事委員会事務局HP
（給与・勤務時間等）



<https://www.pref.mie.lg.jp/saiyo/29473027196.htm>

全日本建設技術協会



技術水準の向上、社会的地位の向上、連携・交流の促進等を目的とし、建設技術関係者のための活動をしています。

■資格補助（スキルアップ支援）

- ・対象の資格試験※に合格した会員に受験料を補助（43歳以下は全額、44歳以上は半額）
- ・対象資格以外で業務に関係する試験に合格した会員に受験料を半額助成
※対象資格：技術士、土木施工管理技士、コンクリート診断士、土木鋼構造診断士、国土交通省登録資格 等

■研修（全建講習会）

様々なテーマの研修会が全国で開催されますので、自分の興味のある研修や業務に関する研修に、参加することができます。

土木協議会

県土整備部職員に関する諸問題の解決と要望達成の実現を目的として、ライフ・ワーク・マネジメントの推進をはじめ、組織機構や職員定数などについて話し合い、業務改善に係る要望活動などに取り組んでいます。

■ソフトボール大会

職員相互の親睦を深め、職員同士が支えあえる職場環境を構築するため、ソフトボール大会を実施しています。



採用情報

過去の試験状況

※ A 試験の総合土木について、令和 4 年度から、「教養試験」を行う従来の方式（一般方式）による試験方法に加えて、「SPI3（能力検査のみ）」を行う新たな試験方式（新方式）が追加されました。

	総合土木（A試験）※（ ）内B試験							総合土木（C試験）						
	採用 予定数	申込 者数	一次試験		二次試験		最終 倍率	採用 予定	申込 者数	一次試験		二次試験		最終 倍率
			受験 者数	合格 者数	受験 者数	合格 者数				受験 者数	合格 者数	受験 者数	合格 者数	
令和4年度 （一般方式）	20	20	14	13	12	10	1.4	10	17	17	17	15	14	1.2
令和4年度 （新方式）	5	15	13	11	9	8	1.6	-	-	-	-	-	-	-
令和5年度 （一般方式）	21	26	18	17	16	15	1.2	12	28	28	24	23	21	1.3
令和5年度 （新方式）	4	9	7	3	3	3	2.3	-	-	-	-	-	-	-
令和6年度 （早期枠）	10	49	46	33	30	22	2.1	-	-	-	-	-	-	-
令和6年度 （一般方式）	18 (3)	21 (2)	7 (2)	6 (2)	6 (2)	6 (2)	1.2 (1.0)	11	18	18	16	16	16	1.1
令和6年度 （新方式）	3	9	4	1	1	1	4.0	-	-	-	-	-	-	-

受験申し込みから採用まで

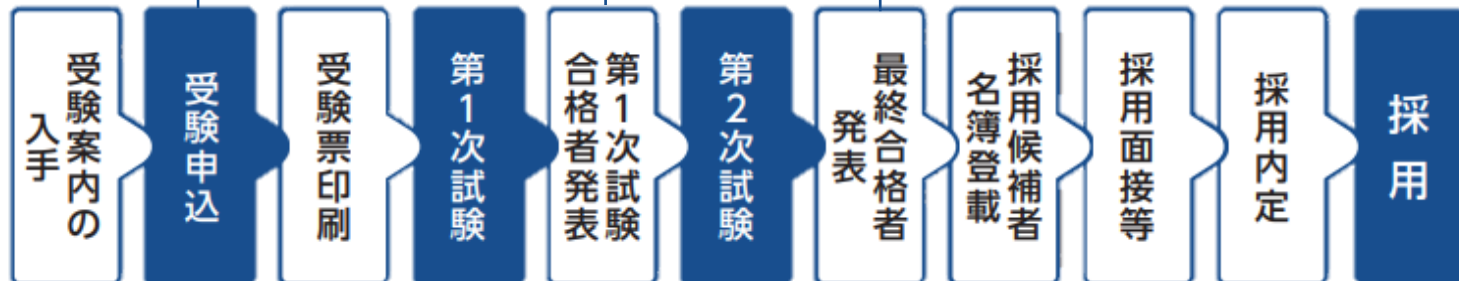
※採用試験の合格者は、試験区分ごとに作成する採用候補者名簿に登載されます。この名簿は、最終合格者発表の日から原則として1年間有効です。

(参考)
令和 6 年度
試験日程

早期 : 1月21日 ~ 2月21日
A試験 : 5月7日 ~ 29日
B試験 : 5月7日 ~ 29日
C試験 : 7月19日 ~ 8月26日

早期 : 3月27日
A試験 : 7月3日
B試験 : 7月3日
C試験 : 10月17日

早期 : 4月30日
A試験 : 8月9日
B試験 : 8月9日
C試験 : 11月20日



早期 : 3月1日~14日
A試験 : 6月16日
B試験 : 6月16日
C試験 : 9月24日

早期 : 4月5日、4月12日~20日
A試験 : 7月13日、7月17日~8月2日
B試験 : 7月13日、7月17日~8月2日
C試験 : 10月28日~11月6日



TOPIC!

令和 6 年度から、従来のA試験に加えて「A試験早期枠、B試験」を新たに実施しています。

また、令和 5 年度より民間企業で土木に関する専門分野を学んだ方を対象に、「民間企業等職務経験者試験」が秋（9月頃）に実施しています。民間企業等における職務経験を通じて得た専門的な知識や能力等を県政に生かし、即戦力として活躍していただける人材を募集しています。

三重県職員採用のご案内
（人事委員会事務局HP）



三重県職員採用
X（旧Twitter）



<https://www.pref.mie.lg.jp/saiyo/>

https://twitter.com/mie_saiyo

令和 8 年度採用案内については、**順次人事委員会事務局HPに掲載！**



よくあるQ&A

Q 土木や建築分野の公務員になるためにはどのような進路を選べばいいですか？

A 標準的なルートは、
土木公務員：高等学校卒業予定者 高等学校→C試験
：大学卒業予定者 高等学校→大学（土木工学系、農業土木系、理学系学科）→A試験
建築公務員：高等学校→大学（建築系学科）→A試験
となりますが、近年は土木系学科以外からの入庁者もいます。勤務してから、研修やOJT制度もありますので、専門以外の方でも入庁後にしっかり学ぶことができます。

Q 土木行政と民間業者（コンサルタント、建設業）の違いはなんですか？

A 土木事業は、計画立案ののち、調査設計、用地買収、工事を経て、完成します。行政は全体に携わりますが、区分分けすると行政は計画立案を行い、調査設計はコンサルタント、工事は建設業が担います。着手から完成まで行政が軸となり、民間業者と協力しながら事業を進めていきます。詳しくはP.3に。

Q 入庁前に資格は必要ですか？

A 採用時の条件としては必要ありません。入庁後にスキルアップのため資格取得する職員が多く、全日本建設技術協会から、資格の受験料の補助制度もあります。詳しくはP.13に。

Q 総合土木で採用された場合、県土整備部、農林水産部、企業庁のいずれかの部署に配属されるとのことですが、希望の部署に配属されますか？

A 最終合格後の面談の際に、配属希望や家庭状況などを確認させていただきます。必ずしも希望どおりの部署に配属できるわけではありませんが、いずれの部署も、総合土木職員として仕事内容に大きな差はありません。

Q 道路整備に関わる仕事がしたいのですが、希望する仕事に就くことができますか。

A 三重県では、3～5年を目安に所属の異動があります。毎年12月に、所属長と面談を行い、異動の希望や従事したい分野や業務を伝える機会があります。必ずしも希望通りの仕事ができる訳ではありませんが、さまざまな所属を経験することで、キャリアアップを図ることができます。

Q 内業（デスクワーク）と外業（現場）の割合はどれくらいですか？

A 本庁勤務の場合はほとんど内業（デスクワーク）になります。事務所勤務の場合は例えば、事業推進室では、7割が内業（デスクワーク）、3割が外業（現場）です。なお、所属や時期にもよります。

Q 土日・祝日に出勤することはありますか？

A 基本的に完全週休2日制です。ただし、災害対応、地元への工事説明など休日に出勤する場合があります。

その他QAは、人事委員会事務局 ▶▶▶
HPをチェック



三重県土木技術職員をもっと知りたい！

もっと知りたいな、ここが分からない、不安を解消してから試験に臨みたい、など悩みはありませんか？

みなさまの将来の選択肢を増やし、入庁してからのギャップを少なくするため、現場見学や職場案内、ご相談事などご対応させていただきます。些細なことからも結構ですので、お気軽にお問合せください！



問い合わせ先
はこちら



この3名が
県土整備部の窓口です！

三重県 県土整備総務課



0 5 9 - 2 2 4 - 2 7 6 2



kendo@pref.mie.lg.jp



森地

増田

清水

お問合せは、X（旧Twitter）やInstagramのメッセージでも受け付けています！
（表紙参照）

現場見学会も毎年開催しています！

三重県で行っている事業の現場見学会を、毎年12月頃に半日程度で開催しています（人事委員会主催）。日程が合わない場合でも、現場や職場のご案内など随時対応しますので、ご興味ある方はぜひ上記へお問合せください！

<現場見学プログラム（例）>

概要説明



現場見学



若手職員フリートーク



現場体験・工事監督体験



Access



J R ・ 近鉄 ・ 伊勢鉄道 「津駅」 から徒歩10分



三重交通 「県庁西バス停」 から徒歩 5 分



自動車 国道23号線「県庁前」交差点を西へ
入り、3つ目の信号を左折

Address

三重県 県土整備部 県土整備総務課

〒514-8570

三重県津市広明町13番地

TEL 059-224-2762

FAX 059-224-2415

E-mail kendo@pref.mie.lg.jp